

平成 29 年 11 月 14 日



一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

～試験会場は 200 会場に大幅拡充、受験日も自由に選べる！～

「介護福祉経営士」試験が 2018 年 1 月より CBT 方式を採用

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会（代表理事＝多田 宏）は、2018（平成 30）年 1 月より、「介護福祉経営士」資格認定試験を全面的に CBT 方式に移行して実施することになりました。

2013 年 4 月に第 1 回「介護福祉経営士 2 級」資格認定試験を実施して以来、これまで 1,300 人を超える方々が合格しました。また、上位の「介護福祉経営士 1 級」は、208 人が合格しています。

超高齢化が進み、介護福祉サービスの事業経営を担う人材が求められ、「介護福祉経営士」の重要性が一層高まるなかで、より多くの方々に受験機会が広がり、介護福祉業界のマネジメント人材として活躍していただけるよう、受けやすく役に立つ教育システムとして進化します。

《CBT 方式による 4 つのメリット》

- 1) 自分のペースで無理なく学習。自信がいたら受験を申し込み。
→推薦図書に『介護福祉経営士テキスト』（全 21 巻、発行：日本医療企画）があります。
- 2) 自分の予定に合った日程、時間にチャレンジできます。
→従来の試験日年 3 回（1 級は年 1 回）から、年末年始を除き毎日受験可能です。
- 3) 試験会場はご希望の会場を選べます。
→従来の全 7～8 会場から、全国約 200 会場に大幅に増えます。
- 4) 試験が終わったらその場ですぐに合否をスピード判定。合格すれば証明書が発行されます。

詳細は、本会ホームページ（URL: <http://www.nkfk.jp/>）にて随時更新いたします。

《介護福祉経営士とは》

「介護福祉経営士」は、介護福祉経営に関する諸制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成など多岐にわたる知識を習得し、かつ、実務の現場において広くその知識・経験を発揮できる、介護福祉分野の経営を担う専門職です。入門クラスの「2 級」（試験は 40 問／60 分）、上位クラスの「1 級」（同 50 問／80 分）の 2 段階で構成されます。

《CBT : Computer Based Testing》

問題用紙やマークシートなどの紙を使わず、コンピュータで受験する方式のテスト。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

事務局（担当：星野・山口）

TEL : 03-3256-0571 FAX : 03-3256-0572 Mail:info@nkfk.jp